

第69回 奈良西警察署協議会 開催結果（議事録）		
開催日時	令和6年2月15日（木）午後1時30分から午後3時40分（2時間10分）	
開催場所	奈良西警察署 研修場	
出席者	協議会委員 （定数16名）	佐野会長・三笥副会長・麻島委員・小西委員・小林委員・北川委員・西委員・福井委員・増田委員・松田委員・松本委員・宮木委員・山岡委員・山瀬委員 以上14名
	警察署	署長・副署長・会計官・警務課長・地域課長・刑事課長・交通課長・警備課長・生活安全総務係長・県民サービス係長 以上10名
議事概要	<p>1 署長挨拶 今年度3回目の奈良西警察署協議会の開催となる。 今次協議会においては、令和5年中の奈良西警察署の取組結果を総括したものを後程皆様にご説明させていただく。 また、その結果を踏まえ、令和6年中における奈良西警察署の活動のあり方などについて皆様から広くご意見をいただき、それを署の運営に反映させて参りたいと考えている。 限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。</p> <p>2 会長挨拶 昨年6月に会長職に就いて以降、今回が3回目の協議会となる。 今回署長からは「令和6年中における警察活動の運営全般」について諮問されている。 今度もこれまで同様、委員各位の活発かつ熱意あふれる意見交換が行われることを期待している。 是非とも委員各位の意見を幅広く拝聴させていただきたいと考えているので協力願いたい。</p> <p>3 議事 （1）前回の答申に対する取組結果 ※内容を入れる</p> <p>（2）令和5年中における各課取組結果等の発表 昨年中の業務取組結果及び本年の業務運営方針について、各課（係）長が資料に基づき説明。 今次協議会において委員からは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各課長等からの報告を聞き、本当に精一杯やっていたと率直に感じている ・ これ以上奈良西警察に仕事を増やすのは申し訳ないと思うくらい頑張っていたとあり、非常にありがたいと思う ・ 横断歩道や信号の調整を助けていただいた結果、従来から問題となっていた三碓インターや富雄インターの渋滞も軽減されたと感じている ・ 制服警察官の姿を見せていただくと心強く感じる <p>等と、警察活動に対する評価の声が多数挙がった。</p> <p>（3）諮問 「令和6年中における警察活動の運営全般」 諮問理由を署長から説明</p>	

(4) 諮問に対する意見要望

ア 巡回連絡について

【委員】

限られた人員と時間の中で実施されていることは承知であるが、警察官が家庭を一戸ずつ回ってきてくれる貴重な機会であるので、回数をもっと増やしてほしい。

制服を見せてもらうことにより、犯罪抑止にも繋がると思う。

【警察】

巡回連絡は地域警察活動の基本勤務の一つで重要な任務の一つと考えている。

しかし、当署の地域警察官は事件事故の取扱いだけでなく、特殊詐欺の抑止対策のほか、安否確認や認知症等行方不明者の捜索など現象面の対応に追われているのが実情である。

そのような現状であるが、メリハリをつけて計画的に実施する等一般家庭に対する訪問についても期待に応えられるよう努力してまいりたい。

イ 行政機関と警察の連携強化について

【委員】

全国的に初犯者は減少しているが、再犯率は増加していると聞いている。

警察署としての再犯防止対策や取組について教えてほしい。

【警察】

本部と警察署の役割のうち、本施策は主に本部に対応してもらっている状況にある。

ただし、当署においても、薬物依存からの回復をサポートする施設を把握しており、これまでも施設管理者と連携を図っている。

今後も施設管理者等と接触の機会はあるので、警察署として対応出来ることを見つけてまいりたい。

【委員】

独居の高齢者の安否確認等は民生委員や地域包括等との連携が必要不可欠であると感じている。

地域警察官と行政機関の連携を強化し、今以上に相互扶助の関係を構築することができればいいのではないかと。

【警察】

地域包括等との関わりは当署としてもテーマの1つにしている。

高齢者を取り扱う事案（安否確認、行方不明等）が多いのが現状であるため、署員研修等において部外講師を招聘するなどして知識を深め、また地域のネットワークに参加させてもらい、連携を強化している。

引き続き各地域で意見交換するなどして互いに理解を深める取組みを積極的に行ってまいりたい。

ウ 民間と連携した広報啓発活動について

【委員】

自治会の回覧や看板のみでは、せっきくの奈良西警察署の活動状況の現状が伝わっていないように思う。

身近に警察の活動を理解してもらい、協力を得る為には、店舗等、集客施設と連携して啓発チラシを掲出等するのが効果的でないかと思う。

このようなことを民間に協力依頼することは駄目なことなのか。

【警察】

特に禁止されているということはないと理解している。

交通部門においては、飲酒運転を撲滅させる一環として、ハンドルキーパー運動を展開しており、飲食店等においても協力していただいているところである。

店舗・集客施設での広報啓発については犯罪抑止・事故防止の観点から非常に効果的であると考えてるので、今後の警察活動の参考にさせていただく。

(5) 答申

ア 巡回連絡等きめ細やかな地域活動の推進

イ 関係機関団体と連携・協力した各種警察活動の推進

ウ 民間の集客施設等を利用した広報啓発活動の推進

4 警察署協議会の議事録

当警察署協議会の議事録については「個人のプライバシーに関する事項及び協議会の議決により公表しないと決定した事項を除いたもの」を作成して閲覧に供すると全会一致で決定した。

5 次回協議会の日程

令和6年6月頃に開催予定